

王子五丁目団地

自治会会報

第237号・2004年4月10日

公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子5丁目2番
発行責任者・丸本 秀昭
編集責任者・木元 章喜

(電話・FAX) 3913-6723
[開設時間] 月～金 9時～16時
<http://www.h5.dion.ne.jp/ougo/>

みんなが主人公

安心・安全の団地づくりを

2004年度(第28期)に 自治会が取り組む課題(案)

6月30日、都市基盤整備公団は廃止され、7月1日から「独立行政法人都市再生機構」が団地管理を引き継ぐことになっています。三年間の家賃改定、住棟単位で売却、管理の民間委託の拡大など、独立行政法人化は私たちの生活を脅かすものです。

住環境を向上し、よりよい住宅管理を要求し、すべての居住者が安心して住み続けられる団地にするために、積極的な取り組みをすすめて、災害対策・住環境向上・モラル問題・高齢者問題などこれからの課題を活かしつつ、さまざまな視点からの検討を加えて居住者のみなさんご一緒にがんばります。

公共住宅を守り、よりよい住宅管理を要求し、安心して住み続けられる王子五丁目団地にするために

①「独立行政法人都市再生機構」(以下公団・機構)に対し、公共住宅を守ることを求め、団地管理が後退

公団王子五丁目団地自治会 第28回定期代議員総会

日時 4月18日(日) 午後1時～3時

場所 団地集会所2・3号室

議題

- 1、2003年度活動報告
- 2、2003年度決算報告
- 3、会計監査報告
- 4、2004年度活動方針の決定
- 5、2004年度予算の決定
- 6、選挙管理委員会の報告
- 7、その他

安全で住みやすい 団地づくりのために

1、修繕問題に意欲的に取り組みます。

①公団・機構に対して、引きつづき計画修繕の的確な早期実施および修繕率の拡大を求めます。

②共用部分の修繕の確実な実施と、共益費の適切な運用を求めます。

③リニューアル住宅の工事内容の改善を求めます。

2、居住環境の悪化を防ぎ、向上させるために公団・機構に働きかけます。

①団地内の交通体系(特に車両通行)の改善、「不法」駐車や、不当な車両進入を防ぐための対策を求めます。

②団地内の騒音対策を公団・機構などの関係機関に引きつづき働きかけていきます。

③団地内への粗大ゴミの不法投棄を防止するための対策を公団・機構へも求めます。

3、団地生活のモラル向上とルール確立の活動をすすめます。

①団地内の共用部分を大切にしよう呼びかけていきます。

②団地内や地下鉄駅前の「不法」駐車・放置自転車対策を公団・機構や北區に働きかけます。

③ゴミ置き場や、ダストシートの適切な使用と粗大

ゴミ出しのルールを守るよう働きかけます。

④生活騒音への配慮や、水漏れ事故防止を呼びかけるとともに、ペット問題を含む集合住宅の基本的なマナー確立を働きかけていきます。

⑤夜間のバイク騒音、駐輪場での自転車・バイクへのいたずらや放火などの対策を求めます。

⑥団地内における交通事故や落書きなどの犯罪防止を、警察や公団・機構などと協力して求めます。

4、災害に対する取り組みを求めます。

①災害時の広域避難場所の指定団地としての認識を新たに、関係機関との連携を強めていきます。

②自治会の自主的な防災組織のいっそうの充実を「震災ボランティア」と共に、日常的な防災意識の啓発を防災訓練や防災用品のあせなどをおこなって求めます。

③自治会独自で作成した防災マニュアルの内容の拡充をはかります。

5、公団・機構、住宅管理協会やJ's日本総合住宅生活(株)との連携を促進させます。

①共益費について自治会との話し合いと適切な運用を求めます。

②来客用駐車場の管理を改善しながら求めます。

③緊急連絡員制度を充実させ、緊急時の利便性を公団・機構と協力しながら向上させます。

④団地管理や防災体制をはじめ様々な点での連携を研究していきます。

⑤集会所改修を求め、団地居住者のコミュニティ活動の充実をはかります。

地域社会の確立と ゆたかな

団地づくりのために

1、高齢者問題への取り組みをはじめ各世代を視野にいたれた活動を求めます

①居住者の高齢化や不況による経済不安がすすむなか、居住者同士の助け合い活動を実施するとともに各世代の交流活動を求めます。

②「青少年問題を考える地域懇談会」をひきつづき開催し、団地内の保育園・幼稚園・小学校・中学校など関係機関との連携を求めます。

2、リサイクル活動を定着・発展させます。

①排出ゴミの減量運動を求めます。

②「空きカン・ビン」のリサイクル体制を維持・発展

させるために、ペットボトル、古紙、紙パックなどの資源有効活用を求めます。そのための団地内リサイクルシステムの確立を推進していきます。

③リサイクル活動に必要な環境・条件整備を公団・機構や北區に働きかけます。

3、生活に関するお話を与える各種行事や取り組みをおこないます。

①第28回団地まつりを今年の夏も2日間開催します。居住者交流の各種行事は居住者のみなさんの要望をとり入れ、内容の充実や見直しをおこない実施していきます。

北區青少年王子地区委員会の各種行事にも構成団体として積極的に参加します。

②自治会共済制度の維持、しらかば会(敬老会)の開催。小学校新入児童・新成人へのお祝いを実施していきます。

③灯油の共同購入、協定業者と提携しての引越あせんなど利便供与の取り組みを引きつづきおこないます。

4、北區などの行政・公的機関の委託事務をおこない、居住者とのパイプの役割を求めます。

5、渉外活動、関係団体との連携・協力を求めます。

自治会活動の 充実と発展のために

充実と発展のために

1、全ての居住者参加の自治会づくりをめざします。

①会員は自治会活動の基礎であり、全居住者に対して入会の働きかけを引きつづきおこなっていきます。

②団地内の全ての店舗に「賛助会員」参加の働きかけをひきつづきおこなっていきます。

③自治会内専門部・委員会などに役員以外の会員に多数参加してもらい、充実した活動を求めます。

2、会員の期待と信頼にこたえる自治会活動を求めます。

①自治会活動への理解をすすめる、役員定数35名の充足をめざし、役員会、運営委員会、各専門部、各常任・特別委員会、事務局の運営の強化をはかり発展させます。

②団地の変化に対応できる自治会にするための検討を求めます。

③会報の発行やポスターの掲出、IT化への対応など広報活動をよりわかりやすく充実させます。

④自治会外団体として設立し、運営している(有)王子コミュニティセンターについては、居住者の要望や団地管理のあり方、事業の発展性などの検討をおこない方向性を定めます。

2003年度(第27期)自治会が 取り組んだ活動のまとめ

団地居住者の高齢化、先の見えない長期不況が襲う中で「独立行政法人都市再生機構法案」が国会で可決成立しました。私たちの運動により国会で採択された「附帯決議」の全面実現をめざし、秋の統一行動以降精力的な活動をおこなってきました。

自治会は、安心して快適に住み続けられる公団住宅の実現を求めて様々な活動をおこなってきました。この一年を振り返り、会員世帯のみなさんとともにすすめた数多くの運動や活動を課題別に報告します。

1、公共住宅を守り、

住みよい安全な王子五丁目団地にするために

「日本住宅公団」「住宅・都市整備公団」「都市基盤整備公団」と名前を変えてはきましたが、公団住宅は様々な問題はあったものの、住宅政策の一翼を担う形で全国15万戸の賃貸住宅を管理してきました。それが「行政改革」の名のもとに、住宅部門からの撤退を



'03居住者総決起集会。王五代表も舞台上で活躍



'03フェスタ王五の恒例のモチつき大会



子どもたちの笑顔いっぱいのクリスマス



この3月の「お花見食事会」は大好評

計結果と「家賃に関する要望書」の署名を公団総裁宛に送付しました。

年明けにおこなった「家賃等に関するアンケート」で、居住者の高齢化が進んでいる王子五丁目団地では家賃に対する負担が大変重いと感じている世帯が60%以上の割合を占めました。家賃に関する要求度の回答は、高家賃の引き下げ・家賃値上げの停止など、合計で70%以上ありました。

現在王子五丁目団地では全戸の空き家が「リニユール」住宅となり、常時募集して入居しても家賃が高いため、若い子育て世帯の定着率が低いのが現状です。緑が多く環境が良い王子五丁目団地に若い世代も高齢者も共に住み続けられるよう、以前のような簡易な修繕のみで募集するように要求しています。

居住者の高齢化や一人暮らし世帯が増え続けるなか、「痴呆の早期発見のための学習会」「家庭で役立つ介護実習」を開催しました。

高齢者を対象にした「お花見食事会」を開催し、同時にボランティアの募集をして役員と共に運営の試みをしました。

駅前広場、各住棟1階(特に2号棟駐輪場)には団地外からの不法駐輪の自転車が後を絶たない状況があります。昨年不要と認められる自転車の一斉撤去を実施しました(約1,000台)。

修繕問題では、計画修繕【ひる石天井工事(6号棟)】を実施しました。2・6号棟を残して洗濯排水間接設備工事が終了しましたが、建物の構造上検討課題となっていた2・6号棟の工事自治会からの強い要望に応じて4月から2号棟の工事が行われることになりました。

高齢者向け優良賃貸住棟以外の2・5・6号棟でも階段室に手すりや設置されました。

日頃から住棟の防火扉の破損など公団に修理依頼をおこなってきましたが1・2・3・4号棟の防火扉の一点検がおこなわれ修繕工事が実施されました。

J S日本総合住宅生活協同組合と共同で「住まいの修繕相談会」を開催し30名以上の方が相談に訪れました。また、自治会役員が東京支社のモニターとして会議に出席し、活動をしていきます。

居住者からの強い要望にこたえて行われた量・棟共同購入では100件近い申し込みがあり、安価な会員登録格での提供は大変喜ばれました。

自治会は団地管理への自主参加の試みとして、2001年4月から緊急連絡員業務委託業務および、来客用駐輪場の管理をおこなっていますが、緊急連絡員業務では夜間の警備受け入れ、祝祭日の集会所の鍵貸し出しなどの業務をおこなっていました。

防災対策としては、「震災ボランティア」の方に呼びかけをし、9月に実施した総合防災訓練では「安全確認申し出」をした世帯に対し、震災ボランティアおよび役員が1軒1軒安全を確認する訓練も前期に引き続き実施し、防災意識向上につとめました。

前期から中止した「ファミリー運動会」に代わる初めての試みとして「防災フェア」を開催し、煙ハウス・起震車・消火訓練・炊き出し訓練など震災ボランティアの協力も得ながら居住者のみなさんと体験をしました。防災関連用品の展示予約販売もおこないました。

桜田小学校・桜田中学校も生徒の減少に伴い近隣の学校との統合が検討される中、さくら幼稚園・桜田小学校・桜田中学校・東十条児童館などとの懇談会を引き続き開催し、情報の交換や協力体制づくりなどを検討していきます。また、桜田小学校・桜田中学校の学校評議員として自治会会長がそれぞれの会議に出席し、活動をしていきます。

2、地域社会の確立と
ゆたかな団地づくり

2、地域社会の確立と

ゆたかな団地づくり

リサイクル活動では、古紙・雑誌・古着・段ボールの分別回収(2003年合計約450トン)、空きカン・ビン・のびろん回収に引き続き取り組まれました。リサイクル品の回収だけでなく再生品の利用を進め「リサイクル型団地」とすることがもたらわれていますが、区からの資源回収報奨金の居住者還元として、再生トイレレットペーパーの全戸無料交換をタジマ王子店の協力を得て実施し、自治会としても販売をしています。

「第27回団地まつり」をはじめ「じらかは会(敬老会)」「防災フェア」「フェスタ王五」などの行事の他、新成人・小学校新入学児童へのお祝いもおこないました。また「新春ボウリング大会」「麻雀大会」「バスハイク」「ハイキング」「子どもクリスマス会」などを実施していますが、参加者がなかなか増えない状況にあります。

王子地区としては「親子ボウリング大会」「又民まつり」「球技大会」「歩こう会」「お泊まり会」などの取り組み、王子四丁目町会・PTAと協力しての「早起きラジオ体操」等を実施、12月にはさくら幼稚園、1月には桜田小学校

校でのもちつきに協力するなど、多彩で楽しく意義あるものでした。

3、団地生活になくてはならない自治会活動

自治会は行政・公的機関の窓口としてさまざまな委託事務や、広報活動をおこなっています。団地居住者と行政のパイプ役として自治会には大きな役割を果たしています。これからも地域の「コミュニティ組織」としての自治会の存在と活動が注目されていきます。安全で安心して住み続けられる王子五丁目団地づくりのためにも、会員世帯数の横ばい状況を脱し全世帯の自治会加入を働きかけていくことが重要となっています。そのためにも自治会の動きを伝える広報活動、とくに会報の充実につとめていきます。

自治会が開設しているホームページも居住者をはじめ内外に好評となっています。

自治会は、専門部体制の強化等を実施してきましたが、今期も役員が定数に満たないなかで、数多くの役員会、運営委員会の開催や専門部の会議も開き、会員世帯に支援も求めつつ活動してきました。今期自治会は居住者のライフスタイルの変化に対応できるよう、土曜日の午前中自治会事務所開設の実施をおこなっています。

他の公団団地自治会や居住者と連携をはかるために、東京都23区公団住宅自治会協議会(会長・副会長を役員として派遣)、全国公団住宅自治会協議会(副会長を役員として派遣)の主要な構成自治会としても力を発揮してきました。地元の王子町会自治会連合会や明の選挙推進委員会など地域の関係する組織に代表を派遣するなど、地域でも必要な活動をおこなってきました。また、役員が区政モニターとして活動もおこなっています。

環境リサイクル特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	3,080,280	業 者 等 費 用	1,482,113
古紙等回収報奨金	2,816,358	共 用 電 話 費 用	45,993
カン・ビン回収報奨金	0	現金売用トイレトーパー仕入れ	25,800
トイレトーパー売上	39,040	居 住 者 還 元	799,155
共 用 電 話 使 用 料	2,000	団地まつり会計補助	182,408
受 取 利 息	24	防 災 関 係 備 品 購 入	185,804
		備 品 購 入 費	71,587
		一般会計へ繰り入れ	500,000
		次 年 度 へ の 繰 越 金	2,644,842
合 計	5,937,702	合 計	5,937,702

家賃問題特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	18,809	活 動 費	53,065
2003統一行動カンパ	451,450	リーフパンフレット代	68,735
受 取 利 息	0	カンパ自治協納付金	310,450
		次 年 度 へ の 繰 越 金	38,009
合 計	470,259	合 計	470,259

灯油共同購入特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	329,786	2002/2003灯油払戻金	40,720
2003年度灯油券代	698,880	2002年度灯油代金	26,400
受 取 利 息	2	2003年度灯油代金	608,400
		雑 費	5,084
		次 年 度 へ の 繰 越 金	348,064
合 計	1,028,668	合 計	1,028,668

区事務委託料特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	983,095	研 修 会 費	338,140
2003年度事務委託料	1,397,500	一 般 会 計 へ 繰 入	1,400,000
受 取 利 息	10	次 年 度 へ の 繰 越 金	642,465
合 計	2,380,605	合 計	2,380,605

第26回団地まつり会計報告

収 入		支 出	
居 住 者 寄 付 金	1,059,000	電 気 関 係 費 用	336,448
居 住 者 外 寄 付 金	635,000	機 材 レ ン タ ル 費	220,850
直 営 模 擬 店 売 上	381,000	盆 踊 り 関 係 費	230,880
外 部 模 擬 店 出 店 料	165,000	みこし・山車関係費	271,988
提 灯 売 り 上 げ	21,000	直 営 模 擬 店 仕 入 れ	341,395
環境リサイクル特別会計補助	182,408	記念タオル代・傷害保険代	235,960
雑 収 入	32,606	子 ども 行 事 費	61,066
		事 務 ・ 通 信 ・ 広 報 費	219,071
		渉 外 費	115,000
		交 通 費	18,210
		事 務 消 耗 品 費	49,120
		機 材 備 品 購 入 費	0
		来 賓 接 待 費	96,898
		勝 手 場 費 用	146,908
		雑費(ゴミ処理・集会所)	132,220
合 計	2,476,014	合 計	2,476,014

合同貸借対照表

2004年3月31日現在

資産の部	金 額	繰 越 金	金 額
現 金	54,460	一 般 会 計	1,056,654
普 通 預 金	6,402,564	環境リサイクル特別会計	2,644,842
定 期 預 金	2,444,505	家 賃 問 題 特 別 会 計	38,009
		灯油共同購入特別会計	348,064
		区事務委託料特別会計	642,465
		記 念 事 業 特 別 会 計	388,534
		来客用駐車場特別会計	5,349
		緊急連絡員特別会計	104,812
		私道防犯灯補助金	180,000
		事務所確立積立金	2,055,971
		慰 労 金 積 立 金	1,436,829
合 計	8,901,529	合 計	8,901,529

(注1) 私道防犯灯補助金は2003年度に北区から受け入れたもので、2004年度共益費に組み入れるため都市基盤整備公団に入金します。
(注2) 1991年度、1995年度に支出した外郭団体(有)王子コミュニティセンター資本金3,000,000円は、自治会より貸付金として次年度に引き継ぎます。

来客用駐車場特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	55,249	一 般 会 計 へ 繰 入	490,000
駐 車 場 料 金	440,100		
受 取 利 息	0	次 年 度 へ の 繰 越 金	5,349
合 計	495,349	合 計	495,349

緊急連絡員特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	62,096	一 般 会 計 へ 繰 入	400,000
委 託 料 金	492,660	通 信 費	49,944
受 取 利 息	0	次 年 度 へ の 繰 越 金	104,812
合 計	554,756	合 計	554,756

記念事業特別会計報告

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 金	288,407		
今 年 度 積 立 金	100,000		
受 取 利 息	127	次 年 度 へ の 繰 越 金	388,534
合 計	388,534	合 計	388,534

(有)王子コミュニティセンター第13期営業報告書

貸借対照表

2004年2月29日

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
流動資金		流動負債	
現金	6,761	未払い金	
銀行預金	3,275,316	納税充当金	70,000
未収金	0		
流動資産合計	3,282,077	負債合計	70,000
		資本の部	
		資本金	3,000,000
		法定準備金	250,000
		次期繰越損失	-37,923
		(うち当期損失)	(-92,224)
		資本合計	3,212,077
合 計	3,282,077	合 計	3,282,077

損益計算書

自 2003年3月1日
至 2004年2月29日

科目		金 額	
経常損益の部	営業収益		271,250
	売上高	271,250	
	営業費用		297,166
	売上原価	261,810	
	一般管理費	35,356	
	営業利益		-25,916
	営業外収益		3,692
	受取利息	992	
	雑収入	2,700	
	営業外費用		
経常利益	支払利息		
	雑損失		
	経常利益		-22,224
	税引前当期利益		-22,224
	法人税等引当金		70,000
	当期損失		-92,224
前期繰越利益	前期繰越利益		54,301
	当期未処分損失		-37,923

利益金処理

当期未処分損失	
これを次の如く処分致します	
法定準備金	
次期繰越損失	-37,923

会計監査報告書

公団王子五丁目団地自治会の2003年度会計監査を4月3日午後、自治会事務所で実施しました。貸借対照表および決算書の正確性、資産の監理状況、業務処理状況について詳細に監査したところ、いずれも的確に処理されていることを確認しました。

- 照合資料
1. 金銭出納帳および預金通帳
 2. 収支伝票および付属証票
 3. 科目別勘定台帳
 4. 会費納入台帳

2004年4月3日 会計監査委員 萩 野 康 子◎
" 岩 崎 佳奈恵◎

2003年度決算

自2003年4月1日
至2004年3月31日

収入の部

科 目	予算額	決 算	増 減
会費等収入	7,430,000	6,051,700	- 1,378,300
会費収入	6,900,000	5,656,500	- 1,243,500
入会金収入	30,000	8,200	- 21,800
賛助会費	500,000	387,000	- 113,000
区助成金等	453,000	537,935	84,935
区事務委託料特別会計繰入	1,400,000	1,400,000	0
緊急連絡員特別会計繰入	400,000	400,000	0
来客用駐車場特別会計繰入	500,000	490,000	- 10,000
環境リサイクル特別会計繰入	500,000	500,000	0
事務機器等使用料	100,000	41,817	- 58,183
雑 収 入	200,000	314,406	114,406
前年度繰越金	570,400	570,400	0
合 計	11,553,400	10,306,258	- 1,247,142

支出の部

科 目	予算額	決 算	増 減
自治会活動費	1,450,000	1,072,405	- 377,595
活 動 費	650,000	584,567	- 65,433
通 信 費	250,000	149,028	- 100,972
交 通 費	150,000	61,650	- 88,350
慶 弔 費	200,000	150,000	- 50,000
会 議 費	200,000	127,160	- 72,840
広 報 費	800,000	655,803	- 144,197
行 事 費	1,200,000	656,927	- 543,073
共 済 費	350,000	280,104	- 69,896
事務局活動費	4,306,000	4,280,147	- 25,853
事務局員活動費	3,706,000	3,730,172	24,172
配 布 料	600,000	549,975	- 50,025
運 営 費	1,700,000	1,353,218	- 346,782
事務所経費	600,000	563,978	- 36,022
消耗品雑費	500,000	413,760	- 86,240
備品購入費	100,000	0	- 100,000
備品リース費	500,000	375,480	- 124,520
分 担 金	646,000	555,000	- 91,000
公団自治協	480,000	480,000	0
連合町会	80,000	29,000	- 51,000
防火協会	25,000	25,000	0
防犯協会	50,000	10,000	- 40,000
清掃協力会	11,000	11,000	0
記念事業特別会計引当金	100,000	100,000	0
事務所確立積立引当金	50,000	50,000	0
慰労金積立引当金	246,000	246,000	0
次期繰越金		1,056,654	1,056,654
予 備 費	705,400		- 705,400
合 計	11,553,400	10,306,258	- 1,247,142

2004年度予算 (案)

自2004年4月1日
至2005年3月31日

収入の部

科 目	予算額	2003年度実績
会費等収入	6,420,000	6,051,700
会費収入	6,000,000	5,656,500
入会金収入	20,000	8,200
賛助会費	400,000	387,000
区助成金等	536,000	537,935
区事務委託料特別会計繰入	1,400,000	1,400,000
緊急連絡員特別会計繰入	400,000	400,000
来客用駐車場特別会計繰入	500,000	490,000
環境リサイクル特別会計繰入	500,000	500,000
事務機器等使用料	100,000	41,817
雑 収 入	200,000	314,406
前年度繰越金	1,056,654	570,400
合 計	11,112,654	10,306,258

支出の部

科 目	予算額	2003年度実績
自治会活動費	1,600,000	1,072,405
活 動 費	800,000	584,567
通 信 費	250,000	149,028
交 通 費	150,000	61,650
慶 弔 費	200,000	150,000
会 議 費	200,000	127,160
広 報 費	800,000	655,803
行 事 費	1,000,000	656,927
共 済 費	320,000	280,104
事務局活動費	4,350,000	4,280,147
事務局員活動費	3,750,000	3,730,172
配 布 料	600,000	549,975
運 営 費	1,600,000	1,353,218
事務所経費	600,000	563,978
消耗品雑費	500,000	413,760
備品購入費	100,000	0
備品リース費	400,000	375,480
分 担 金	596,000	555,000
公団自治協	480,000	480,000
連合町会	30,000	29,000
防火協会	25,000	25,000
防犯協会	50,000	10,000
清掃協力会	11,000	11,000
記念事業特別会計引当金	200,000	100,000
事務所確立積立引当金	50,000	50,000
慰労金積立引当金	246,000	246,000
次期繰越金		1,056,654
予 備 費	350,654	
合 計	11,112,654	10,306,258

下記入会申込書を「自治会事務所・役員宅」へ投函下さい。
(FAX・E-mailでもOKです) 電話・FAX 3913-6723 E-mail ougo@m3.dion.ne.jp
入会の手続き等についてはその後お知らせします。

自治会入会申込書

公団王子五丁目団地自治会に入会します。 会費徴収

号棟 号室 電話

世帯主氏名(フリガナ)

印

現在の家賃 円 (共益費除く)

家族氏名

年 月 日

金融機関自動振替

城北信用金庫東十条支店 郵便局
第一勧業信用組合東十条支店 東日本銀行東十条支店

郵便局払込 集金 持参
いずれかに○をお願いします。

入居年 昭和 平成 西暦 年

公団王子五丁目団地自治会 御中